



「Web 2.0」と「ワイアレス」に注目

いまインターネット界には、2つの面白いテーマがあると思う。1つは「Web2.0」であり、もう1つは「ワイアレス」ネットワーク技術である。今号では、その意味でGoogle サービスとアンワイアードを取り上げた。

Web2.0は、オライリー氏の概念統合による命名とGoogle社のサービスによる具現化で話題になっているが、このようなユーザー参加型の考え方は日本にも以前から存在していた。たとえば、パソコン通信の頃のフォーラムでのコラボレーションはその先例のように思うし、ECモールの「楽天」、Q&Aコミュニティの「OKwave」、人力検索の「はてな」なども負けてはいないように思う。日本発のネットビジネスの進展にも期待したい。

もう1つのワイアレスネットワークには、UWBのようなPAN、WiFiのようなLAN、WiMAXのようなMAN、ケータイ網のようなWANなど、その通信距離により様々な種類がある。興味深いのは、それらがインターネットの固定網を介して統合されていきそうな点だ(FMC)。政府が推し進めようとしているユビキタス構想も、これらのワイアレス技術が支えていくことになるだろう。日本はPHSやTD-CDMAの発明を含め、ケータイ通信技術でも先進国である。しかし、その標準化と世界市場展開では遅れをとっているとわざるを得ない。ADSLやFTTHでは、世界をリードしている日本である。ワイアレスでも、ぜひ世界のリーダーになりたいものである。今号では、編集部のそんな気持ちを込めて、有線のネットワーク資源を表した「プロバイダマップ」と、無線のネットワーク資源を表した「電波マップ」を付録に掲載した。

以上の2つのテーマは、いずれも今後5年以上は続く大きな潮流になりそうだ。

インターネットマガジン編集長
井芹昌信 <iseri@impress.co.jp>



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp